

津波から身を守るためには

- ・地震を感じたら、海岸を離れ、少しでも高いところへ直ちに避難する
- ・揺れが少なくても油断しない
- ・警報などが解除されるまで海岸に近づかない
- ・うわさに惑わされず、正しい情報を入手する

ハザードマップの使用法

ハザードマップに掲載した震度予測分布、液化化危険地域、津波浸水予想地域などは、国の調査結果に基づき作成したものです。しかし、想定したものと同じ震源で、同じマグニチュードの地震が発生するとは限りません。さらには、東海、東南海、南海地震の三つが一度に発生するかもしれません。

ですから、ハザードマップで自分の地域の震度予測が弱いから、津波浸水予想地域に入っていないから、と安心しないでください。

このマップは、具体的に災害を想定することによって、市民の皆さんが自分で学び、考え、防災対策をしていただくことで、災害時の被害者を一人でも減らせるように願って作られたものです。

マップには、非常持出品のリスト、避難場所一覧、地震豆知識など、皆さんが地震に備えるのに役立つような情報を掲載しています。

備えは大丈夫？

地震対策や、地震が起きたときによいような備えをすればよいかは、皆さんもなんとなくご存じなのではないでしょうか。しかし、実践している人は非常に少ないのが現状です。

100パーセント安全な対策はありませんが、行うべきことを行うだけで被害をかなり軽減できます。今一度、確認してみましょう。

●住宅の耐震診断・耐震改修

地震で亡くなる方の多くは、崩れた建物の下敷きになる圧死が原因です。地震が来る前にしっかり対策をしておきましょう。

市では、木造住宅の無料耐震診断や耐震改修の相談を行っています。詳しくは、建築住宅課（☎66・1132）へお問い合わせください。

●家具類の固定・ブロック塀撤去

固定していない家具、不安定なブロック塀も地震の時には転倒の可能性があり、とても危険です。早めに対策をしておきま

しょう。

市では、高齢者・障害者世帯などを対象とした家具転倒防止器具設置や、ブロック塀撤去の補助を行っています。詳しくは、安全安心課へ。

●非常持出品の用意

食料関係（飲料水・乾パン・缶詰など）、救急薬品、衣類（下着・タオルなど）、貴重品（現金・通帳など）、日用品など、救助が来るまでの、2〜3日分を用意しておくといでしょう。

●家庭での話し合い

家族が別々の場所にいる時に地震があった場合のために、集

合場所や連絡方法などについて決めておきましょう。

災害時の安否確認は、N T Tの災害用伝言ダイヤル【171】を利用しましょう。

●地域の連携を大切に

震災直後は、行政機関、交通機関も被災しています。「誰かがなんとかしてくれるから・」なんて思っていないませんか。自分の身を守るのは、自分自身であることを忘れてはいけません。

そこで頼りになるのは、隣近所の皆さんの協力です。日ごろから近所の人たちと話し合い、いざというときに備えておきましょう。

安全安心課からお知らせ

【金融機関防災訓練】

東海地震対策として金融機関一斉防災訓練を実施します。

とき 9月1日(木)午前10時30分から5分程度

対象 愛知・三重・静岡県下全金融機関（郵便局・公的金融機関を除く）

内容 シャッターの一部閉鎖など

【安心ひろめ〜る】

市では、各種情報をメールで配信するサービスを行っています。詳しくは、安全安心課へ。

○不審者・犯罪情報

最近、市内では自転車の盗難が増えています。必ず施錠しましょう。

○防災情報（気象警報など）

9月1日からは火災情報も防災情報として配信します。

○同報無線放送情報

スピーカーで放送している「広報がまごおり」の情報を配信します。